

「田園回帰1%戦略」

10地区2自治会をモデルに 地域ビジョンづくり

鶴岡市では、将来人口の見通しを踏まえた

「地域ビジョンづくり」に先駆的に取り組むモデル地区を、9月3日から18日まで募集し、10地区と温海地区の2自治会を選出しました。各地区の人口分析と将来の予測シミュレーションを行い、地域づくりに生かします。

2018.09鶴岡市地域振興課

地域人口分析・予測シミュレーション

モデル地区

鶴岡地域	上郷地区、三瀬地区、由良地区、加茂地区
藤島地域	渡前地区、東栄地区
羽黒地域	手向地区、羽黒第四地区
朝日地域	大針地区、大泉地区
温海地域	温海温泉、越沢（※単位自治組織）

半世紀先まで予測

「田園回帰1%戦略」で有名な島根県中山間地域研究センターの藤山浩（こう）氏に、各地区の人口分析を依頼し、来年1月に藤山氏を招いて中間報告会を開催します。

現状の性別・年齢階層別の増減率や今後の人口と高齢化率、小中学生の生徒数を半世紀先まで予測します。分析結果をもとに、住民同士の話し合いの場を設け、3月までに地域ビジョンづくりに向けた検討組織を立ち上げます。

現状と予測を比較し、地域の人口安定化に向けて必要とされる定住人口の増加人数や、出生率の向上、若者の流出抑制などの「処方箋」を明らかにして、きめ細かな計画づくりや、地域づくりに取り組んでいきます。

雪中

閑窓窓外雪霏霏
忽向竹園野雀飛
凜烈朔風村路絶
寒雲不去客来稀

ひっそりとした静かな部屋の窓の外は、さかんに雪が降っている。すると突然雀が、竹やぶに向かって飛び立っていった。いてつくような寒さの北風に、冬の道路は途絶えてしまった。さむざむとした冬の雲は、とどまって動かず、来客もめっきり少なくなった。

雪中＝雪の中。雪の降る中。雪の積もった中。閑窓＝ひっそりと静かな部屋の窓。霏霏＝雨や雪の降るさま。雲の飛ぶさま。竹園＝たけやぶ。凜烈＝寒さの厳しいさま。朔風＝北風。

雪中

閑窓 窓外 雪霏霏たり
忽ち竹園に向かつて野雀飛ぶ
凜烈 朔風 村路絶え
寒雲 去ら不 客来たる稀なり

城貞（藤の花）

藤島歴史公園「Hisu花」に、LEDの球数が13万3000個という、圧倒的な規模のイルミネーションが点灯します。
12月23日（日）17時から、カウントダウン点灯式が行われます。

藤島イルミネーション
Hisu花 de ないと 2018

庄内最大規模のイルミネーション!!
～13万3千個の電球が織りなす幻想の世界へ～

藤島歴史公園「Hisu花」に、LEDの球数が13万3000個という、圧倒的な規模のイルミネーションが点灯します。
12月23日（日）17時から、カウントダウン点灯式が行われます。

つるおか便利帳2018

つるおか便利帳 2018

つるおか便利帳2018を選定。制作から配布まで発行経費は事業者が負担し、収入は広告掲載により、市の負担はありません。

「今年はおと1ヶ月なのに、なんで2018年版」との市民からの苦言が寄せられました。

4年に1度の発行で、発行年を記載しているとのこと。鶴岡市総務課広報（関係から）

「つるおか便利帳2018」が11月下旬から12月にかけて各家庭に配布されました。

鶴岡市の歴史や観光地、歳時記、味覚などの紹介、公共施設の案内や各種手続き、マップも載って、市民の暮らしに役立つ情報が満載です。

市が3月～4月に発行事業者を公募し、5月に「株」ゼンリン

強欲 ゴーン会長

男鹿の「なまはげ」など仮面・仮装の神が家々を訪となう『来訪神』が、ユネスコ無形文化遺産に指定された。『来訪神』を構成する行事を毎年のように続ける地域が日本各地に何十カ所もある。今回は十カ所。遊佐の小正月行事もその中に入った。
「神は時々やって来る」



襲つたりしたのだろう。暴力にまかせただけでなく、時には自国産のお土産などを提供する物々交換もやっていいのではないかと。珍しい土産をもらった現地の人々は「来訪神」として歓迎の意思を示したのではないかと。

日産自動車にとって、当初の「ゴーン」はまさに来訪神だった。フランスのルノーから日産に乗り込んできて、倒産寸前の日産の再生を果たしたのだから。

でも2万1千人という社員を首にした。多くの財界、マスコミ、世論はこの事をあまり問題視しなかった。それどころか、ゴーンは「救いの神」として、逆に多くの国民から歓迎され、拍手で迎えられたのではないかと。神といつても、「なまはげ」もゴーンもどこから観察しても悪相である。神というには鬼神ですな。

鬼が住んでる孤島へ攻め込んで鬼退治をした桃太郎の昔話がある。遠くの国の漁民へ貿易商の乗った船が、難破して孤島や人家の少ない海岸に流れ着き、近くの人家に押し入って財物を盗んだり、弱い立場の女や子どもを

政府も検察ももっと早く是正を求めるべきだった。

ただし私は、逮捕後の世論のゴーンバッシングを見て、今を去る73年前の日本の敗戦後を思い出す。

かつての日本の指導層へのものすごい非難攻撃の世論である。そんな日和見主義に同調しなかったのは、むのたけじ位だった。むのは朝日新聞記者として戦意高揚に関与した責任をとり、敗戦を機に退社した。

妻子4人を連れて秋田県横手市に帰郷し、週刊新聞「たいまつ」を創刊し、反戦の立場から言論活動を続け、2016年8月21日に101歳で没した。

だまされては遺憾！

終戦は「無条件降伏」ではなく、「ポツダム宣言無条件受諾」という条件つきだ

青山崇



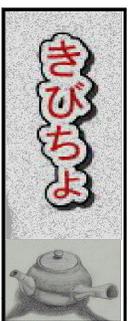
私はこれまで幾度となく主張してきた。しかし「無条件降伏」だと思っっている方がまだいる。

しかし、天皇自ら終戦詔書(天皇の朗読を録音しラジオ放送、通称「玉音放送」)で「朕ハ帝國政府ヲシテ米英支

である。その誠実な実行が日本の国際的義務である。ところが、首相が読んだこともないなどと言うことは言語道断である。

ポツダム宣言の要点をしつかり知っておこう。

- 1、戦争勢力は永久に除去する。
- 2、戦争能力が失われ新秩序が確立されるまで占領する。
- 3、日本領土を奪うことはない。
- 4、日本政府は、平和を守り、民主主義的



検討するがいい

聞く耳を持たなかった。残念。には、宮内庁長官のお詫びがはいったようですが、木で鼻をくくったような言い方に見えたのは、政府用人のテレビ。事は、

来年5月の天皇の代替わりに行われる行事をめぐっての、秋篠宮の発言なのだが、そんなに問題なのかなー。

彼らは先の代替わりに同じ発言していたという報道だ。憲法で決められていて行われる行事と、天皇家が行える行事は分けていい。しかも、天皇家の行う行事は、宗教との関係もあるから別にすべきだという話のようだ。

▲理路整然としたものじゃないですか。天皇陛下は、政治に口を出してはいけないという決まりはあるけれども、これは政治に口を入れたことではないでしょ

傾向の復活を強化し、基本的人権は尊重すべきである。

5、これらの条件が達成されたら占領軍は撤退する。

しかし、アメリカ・ロシアの大国の駐留千島領有・シベリア抑留 自衛隊という戦争勢力の創立・強化など宣言違反が続ぎ、平和・民主・文化日本の道は遠のいて行っている。(写真 1945年8月14日、日本のポツダム宣言受諾を発表するトルーマン(ウィキペディアから)

うし、ましてや禁止されている人でもない。皇室行事は俺達にやらせてよ・しかも安く上げるぞと言っているんだ。なにか問題なことがありませんか。

▲前回の時には、皇室行事も国が国費を使つてやったことで、何件かの裁判になったとの事。これじゃ簡単に前例を踏襲すると、閣議で決めたというわけにはいかないでしょうや。よい問題提起ぐらいい受け止めて、再検討すべきじゃないですか。

▲前日も裁判が起きていたうえに尚このような提起を受けたんだから、今度の裁判に付度が働いたとしても、国が勝つとは思えないぜ。▲国民の象徴が交代する行事だ。国民みなが喜ぶ運びにするべきで、裁判が予想されるようなことは、避けるべきは当然のことでしょう。分離開催は共産党も提案しているんだ。(石川)